

子どもへの支援誓う

青森キワニス
認証状授与式

今年1月に発足した国際奉仕団体「青森キワニスクラブ」(向中野光秀会長、事務局・青森市)が、国際キワニス(本部・米国)の認証を受け、青森市のモルトン迎賓館で3日、認証状

授与式が行われた。会員や来賓ら約70人が、国際キワニスの活動の柱である子どもたちの支援に向け、息の長い取り組みを進めることを誓った。

1915年創立の国際キワニスは、ロータリークラブ、ライオンズクラブに並ぶ国際的な社会奉仕団体の一つとされ、病と闘う子どもたちの支援や児童虐待防止活動などに取り組んでいる。青森キワニスクラブは国内36番目、東北では4番目のクラブとして1月13日



佐藤ガバナーから認証状を受け取り、握手を交わす向中野会長

に発足し、現在の会員数は34人。

式典では、向中野会長が「子どもたちの未来は地域の未来そのもの。子どもの命を支え、ひとりぼっちにはさせない。今ある笑顔をもっとすてきな笑顔にする

ため、さまざまな活動をしている団体の一員として参画していきたい」とあいさつ。国際キワニス日本地区の佐藤嘉昭ガバナーから認証状を受け取った。